## 令和5年度 学校評価 生徒・家庭・教職員 項目ごとの割合(%)

## 上山高等養護学校

経営の重点	No.	生徒からの評価項目	R 5				No.	etade 1 h - det fer et et	R 5				No.	教職員の評価項目	R 5			
			Α	В	С	D		家庭からの評価項目	A	В	С	D			Α	В	С	D
	1	自分にとって学校生活は充実している	59.1	36.3	3.1	1.5	1	お子さんにとって学校生活は充実している	57.8	35.9	1.6	4.7	1	生徒にとって、充実した学校生活(寄宿 舎生活)を提供している	25.8	74.4	0	0
	2	自分の目標に向け、考えたり行動したりしている	62.1	33.3	3.1	1.5	2	お子さんは、自分の目標に向け、考えた り行動したりしている	42.2	50	6.2	1.6	2	生徒は自分の目標に向け、考えたり行動したりしている	23.1	76.9	0	0
	3	挨拶や返事をしっかりとしている	75.7	21.2	3.1	0.0		お子さんは、挨拶や身だしなみなど基本的	05.0		0.4			挨拶や身だしなみなど、基本的な生活習	54.0			
	4	清潔面や身だしなみが身についている	77.3	22.7	0.0	0.0	3	な生活習慣が身についている	35.9 5	54.7	9.4	0	3	慣に関する指導を適切に行っている	51.3	41	7.7	0
	5	先生は、自分のことをわかってくれる	68.1	24.2	7.6	0.0	4	教職員は、お子さんのことを理解して接 している	54.7	39.1	4.7	1.5	4	一人一人の特性に応じた生徒指導、生活 指導をしている	38.5	56.4	5.1	0
	6	気軽に相談できる先生がいる	69.7	22.7	6.1	1.5												
	7	友達と協力して学校生活を送ってい	80.3	18.1	1.5	0.0												
	8	自分は好きなことや得意なことがある	90.9	9.1	0.0	0.0												
	9	安全・安心な学校生活を送っている	86.3	12.1	1.5	0.0	5	お子さんは、安全・安心な学校生活を 送っている	60.9	37.5	0	1.6	5	生徒は安全・安心な学校生活を送っている。	33.3	64.1	2.6	0
	15	自分にとって寄宿舎生活は充実している	54.4	27.2	9.1	9.1	14 ±	お子さんにとって寄宿舎生活は充実している	70	30	0	0	2 4	************************************	30	70	0	0
	宿 16	寄宿舎の先生は自分のことをわかってく れる	72.7	27.2	0	0	寄舎	寄宿舎指導員は、お子さんのことを理解し て接している	80	20	0	0	寄空					
	生 の 舎	寄宿舎での行事や余暇活動は充実して いる	63.6	27.2	0	9.1	舎 16	寄宿舎での行事や余暇活動は充実している	60	30	10	0	舎 2	自立に向けた生活指導を実践している	40	60	0	0
	み 18 舎	洗濯や掃除など身の回りのことができ るようになっている	90.9	9.1	0	0	17 舎	お子さんは身の回りのことができるように なっている	80	10	10	0						
									80	10	10	0						
指導・支援の 充実を図り、 生きる力を育	10	社会や学校のマナー・ルールを守って いる	74.2	22.7	3.1	0	6	お子さんは、社会や学校のマナー・ルール を守って生活している	48.4	45.3	3.1	3.1	6	社会や学校のマナー・ルールを適切に指 導している	43.6	48.7	7.7	0
	11	自分にとって授業はわかりやすい	62.1	30.3	6.1	1.5	7	分かりやすく工夫された授業が行われてい る	53.1	43.7	1.6	1.6	7	生徒の学ぶ意欲を引き出し、わかりやす い授業を工夫している	43.3	56.7	0	0
	12	職業科の学習や現場実習で働く力が身 についてきている	75.7	21.1	0	3.1	8	お子さんは、生活に必要な力や働く力が身 についてきている	45.3	43.7	7.8	3.1	8	生活に必用な力が身につくように指導して	38.5	56.7	0	2.6
	13	係り活動や委員会の仕事を責任をもっ て行っている。	81.8	12.1	4.6	1.5	9	卒業後の生活を見据えた進路指導が行われ ている	55.5	38.1	4.8	1.6	9	卒業後の生活を見据えた進路指導をして いる	63	37	0	0
		217 2 2 3 3 3																
III 保護者、機関等を連携に 地域、第二年 関等を連携 にし、実現を がった。							10	お子さんと保護者の相談に、担任、担当 者は親身に対応している	68.8	26.6	1.6	3.1	10	生徒や保護者の相談に耳を傾け、ていね いに対応している	53.8	46.2	0	0
								学校は、お子さんの学校での様子を十分 に知らせている	63.5	31.7	3.2	1.6		保護者に学校や寄宿舎での様子を丁寧に				
							11 18 4	寄宿舎は、お子さんの舎での様子を十分 に知らせている	80	10	10	0	11	保護者に子校や奇信者での様子を丁寧に知らせている	43.6	53.8	2.6	0
	14	地域のために役に立ったり、地域の人	60.6	10.6	9.1	4.6	12	地域に開かれた学校になっている、生徒	49.2	46	3.2	1.6	12	センター的機能など地域に貢献してい る、地域に開かれた教育課程が実施されて	17.9	64.1	17.9	0
	-	と関わったりして活動することができた	00.0	10.0	3.1	1.0	-	達は地域と関わって活動している	43.2		3.2	1.0	10	いる	11.5	04.1	11.5	
							13	学校は、関係機関、事業所と連携した進 路指導を行っている	54	42.8	1.6	1.6	13	関係機関・事業所と連携し、生徒の能力 や適性に応じた進路指導を行っている	55.6	44.4	0	0
IV 働き方の 革の推進、日をを が上したを が出して、 のあるさい いのめざす。													14	生徒指導、進路指導など、学校と寄宿 舎、各学年間が連携し組織的な対応してい	35.9	56.4	7.7	0
													15	報告・連絡・相談を適切に行っている	56.4	41	2.6	0
	$\top$												16	教育実践の悩み等を気軽に相談しできる	28.2	61.5	7.7	0
													17	働きやすい職場になっている	30.8	56.4	10.3	2.6
	-						$\vdash$						18	生徒の成長や担当業務の達成によって働	33.3	59		
							$\vdash$						-	きがいを感じる。 教材研究や担当業務を行う時間が確保さ			7.7	0.0
	$\bot$						$oxed{oldsymbol{eta}}$						19	れている。	17	64.1	16.4	2.6
													20	教職員として専門性の向上に努めている	23.1	76.9	0	0